



Cisco Email Security スタートアップガイド

この章は、次の項で構成されています。

- [AsyncOS 13.7 の新機能](#) (1 ページ)
- [Web インターフェイスの比較、新しい Web インターフェイスとレガシー Web インターフェイス](#) (4 ページ)
- [詳細情報の入手先](#) (8 ページ)
- [Cisco E メールセキュリティ アプライアンス の概要](#) (11 ページ)

AsyncOS 13.7 の新機能

表 1: AsyncOS 13.7 の新機能

| 機能 | 説明 |
|--------------------------|---|
| AsyncOS API を使用したログ情報の取得 | <p>AsyncOS API を使用して、アプライアンスから次のログ詳細を取得できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• サブスクリプションの詳細を記録します。• 特定のログサブスクリプションのすべてのログファイル。• ファイル名または URL を使用したログファイル。 <p>詳細については、『<i>AsyncOS 13.7 API for Cisco Email Security Appliances - Getting Started Guide</i>』の「Logging APIs」セクションを参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|--|--|
| <p>監査ログを使用した認証、許可、アカウントティングのイベント（AAA : Authentication、Authorization、および Accounting）の記録</p> | <p>Cisco E メールセキュリティアプライアンスは、認証、許可、アカウントティング（AAA : Authentication、Authorization、および Accounting）のイベントを記録する新しいタイプのログサブスクリプション「監査ログ」をサポートしています。</p> <p>監査ログの詳細の一部を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ - ログオン • ユーザ - ログオンに失敗しました、パスワードが正しくありません • ユーザ - ログオンに失敗しました、ユーザ名が不明です • ユーザ - ログオンに失敗しました、アカウントの有効期限が切れています • ユーザ - ログオフ • ユーザ - ロックアウト • ユーザ - アクティブ化済み • ユーザ - パスワードの変更 • ユーザ - パスワードのリセット • ユーザ - セキュリティ設定/プロファイルの変更 • ユーザ - 作成済み • ユーザー - 削除または変更 • ユーザ設定 - ユーザが行った設定変更。 • グループ/ロール - 削除/変更済み • グループ/ロール - アクセス許可の変更 • 隔離 - 隔離内のメッセージに対して実行されるアクション。 <p>詳細については、ログを参照してください。</p> |

| 機能 | 説明 |
|---|---|
| AsyncOS API 向けの電子メールゲートウェイでの OpenID Connect 1.0 の設定 | <p>Cisco E メールセキュリティゲートウェイは、OpenID Connect 1.0 認証で ID プロバイダー (IDP) を使用するアプリケーションまたはクライアントとの統合をサポートし、電子メールゲートウェイで使用可能な AsyncOS API とシームレスに接続します。現在、お使いの電子メールゲートウェイは、Microsoft AD FS のみを使用して OpenID Connect で認定されています。</p> <p>詳細は、システム管理 および『<i>CLI Reference Guide for AsyncOS for Cisco Email Security Appliances</i>』を参照してください。</p> |
| 新しいアクセス権限：委任管理者のログサブスクリプション | <p>新しいアクセス権限オプションである [ログサブスクリプション (Log Subscription)] が、アプライアンスの Web インターフェイスの [システム管理 (System Administration)] > [ユーザロール (User Role)] ページに追加されました。[ログサブスクリプション (Log Subscription)] オプションを使用して、カスタムユーザロールに割り当てられている委任管理者がログサブスクリプションまたはログ API にアクセスしてログファイルを表示またはダウンロードできるかどうかを定義します。</p> <p>詳細については、管理タスクの分散を参照してください。</p> |
| 電子メールゲートウェイで SecureX Threat Response フィードの使用を設定 | <p>Cisco SecureX Threat Response ポータルから脅威フィードを使用するように電子メールゲートウェイを設定できるようになりました。</p> <p>Cisco SecureX Threat Response ポータルでは、監視対象を継続的に収集するためのカスタムフィードを作成し、フィード URL を使用して電子メールゲートウェイでそれらを利用できます。フィードは、JSON 形式の監視対象の単純なリストです。フィードは、SecureX Threat Response ポータルの [インテリジェンス (Intelligence)] > [フィード (Feeds)] ページで作成および管理されます。</p> <p>詳細については、外部脅威フィードを使用する電子メールゲートウェイの設定を参照してください。</p> |

Web インターフェイスの比較、新しい Web インターフェイスとレガシー Web インターフェイス

次の表は、新しい Web インターフェイスの以前のバージョンとの比較を示しています。

表 2: 新しい Web インターフェイスとレガシー Web インターフェイスとの比較

| Web インターフェイス ページ または要素 | 新しい Web インターフェイス | レガシー Web インターフェイス |
|------------------------------------|---|---|
| ランディングページ | アプライアンスにログインすると、[メールフロー概要 (Mail Flow Summary)] ページが表示されます。 | アプライアンスにログインすると、[マイダッシュボード (My Dashboard)] ページが表示されます。 |
| レポートドロップダウン | [レポート (Reports)] ドロップダウンで、アプライアンスのレポートを表示できます。 | [モニタ (Monitor)] メニューで、アプライアンスのレポートを表示できます。 |
| [マイレポート (My Reports)] ページ | [レポート (Reports)] ドロップダウンから [マイレポート (My Reports)] を選択します。 | [マイレポート (My Reports)] ページは、[モニタ (Monitor)] > [マイダッシュボード (My Dashboard)] から表示できます。 |
| [メールフロー概要 (Mail Flow Summary)] ページ | [メールフロー概要 (Mail Flow Summary)] ページには、着信および送信メッセージに関するトレンドグラフやサマリーテーブルが表示されます。 | [受信メール (Incoming Mail)] には、着信および発信メッセージに関するグラフやサマリーテーブルが含まれます。 |

| Web インターフェイス ページ または要素 | 新しい Web インターフェイス | レガシー Web インターフェイス |
|---------------------------|---|--|
| 高度なマルウェア防御レポートページ | <p>[レポート (Reports)]メニューの[高度なマルウェア防御 (Advanced Malware Protection)]レポートページでは、次のセクションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [概要 (Overview)] • [AMP ファイル レピュテーション (AMP File Reputation)] • [ファイル分析 (File Analysis)] • [ファイル レトロスペクション (File Retrospection)] • [メールボックスの自動修復 (Mailbox Auto Remediation)] | <p>アプライアンスの [モニタ (Monitor)]メニューには、次の [高度なマルウェア防御 (Advanced Malware Protection)]レポートページがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [高度なマルウェア防御 (Advanced Malware Protection)] • [AMP ファイル分析 (AMP File Analysis)] • [AMP判定のアップデート (AMP Verdict Updates)] • [メールボックスの自動修復 (Mailbox Auto Remediation)] |
| アウトブレイク フィルタ ページ | <p>新しい Web インターフェイスの [アウトブレイクフィルタリング (Outbreak Filtering)]レポート ページでは、[過去1年間のウイルスアウトブレイク (Past Year Virus Outbreaks)]および [過去1年間のウイルスアウトブレイクの概要 (Past Year Virus Outbreak Summary)]は使用できません。</p> | <p>[モニタ (Monitor)] > [アウトブレイクフィルタ (Outbreak Filters)] ページには、[過去1年間のウイルスアウトブレイク (Past Year Virus Outbreaks)] および [過去1年間のウイルスアウトブレイクの概要 (Past Year Virus Outbreak Summary)] が表示されます。</p> |

| Web インターフェイス ページ または要素 | 新しい Web インターフェイス | レガシー Web インターフェイス |
|---------------------------|--|--|
| スパム隔離 (管理ユーザーおよびエンドユーザー) | <p>新しい Web インターフェイスで [隔離 (Quarantine)] > [スパム隔離 (Spam Quarantine)] > [検索 (Search)] をクリックします。</p> <p>エンドユーザーは、次の URL を使用してスパム隔離にアクセスできます。</p> <p><code>https://example.com:<https-api-port>/eqf-login</code></p> <p>example.com はアプライアンスホスト名で、<https-api-port> はファイアウォールで開いている AsyncOS API HTTPS ポートです。</p> | <p>スパム隔離は、[モニター (Monitor)] > [スパム隔離 (Spam Quarantine)] から表示できます。</p> |
| ポリシー、ウイルスおよびアウトブレイク隔離 | <p>新しい Web インターフェイスで [隔離 (Quarantine)] > [その他の隔離 (Other Quarantine)] をクリックします。</p> <p>新しい Web インターフェイスでは、[ポリシー、ウイルス、およびアウトブレイク隔離 (Policy, Virus and Outbreak Quarantines)] のみを表示できます。</p> | <p>アプライアンスでは、[モニター (Monitor)] > [ポリシー、ウイルス、およびアウトブレイク隔離 (Policy, Virus and Outbreak Quarantines)] を使用して、ポリシー、ウイルス、およびアウトブレイク隔離を表示、設定、および変更できます。</p> |
| 隔離内のメッセージに対するすべてのアクションの選択 | <p>複数 (またはすべて) のメッセージを選択し、削除、遅延、リリース、移動などのメッセージアクションを実行できます。</p> | <p>複数のメッセージを選択して、メッセージアクションを実行することはできません。</p> |
| 添付ファイルの最大ダウンロード制限 | <p>隔離されたメッセージの添付ファイルのダウンロードの上限は 25 MB に制限されています。</p> | - |

| Web インターフェイス ページ または要素 | 新しい Web インターフェイス | レガシー Web インターフェイス |
|---------------------------|---|---|
| 拒否された接続 | 拒否された接続を検索するには、で、[トラッキング (Tracking)] > [検索 (Search)] > [拒否された接続 (Rejected Connection)] タブをクリックします。 | - |
| クエリ設定 | では、メッセージトラッキング機能の [クエリ設定 (Query Settings)] フィールドは使用できません。 | メッセージトラッキング機能の [クエリ設定 (Query Settings)] フィールドで、クエリのタイムアウトを設定できます。 |
| 有効なメッセージトラッキングデータ | [有効なメッセージトラッキングデータ (Message Tracking Data Availability)] ページにアクセスするには、Web インターフェイスのページの右上にある歯車アイコンをクリックします。 | アプライアンスの欠落データインターバルを表示することができます。 |
| メッセージの追加詳細の表示 | [判定チャート (Verdict Charts)]、[最後の状態 (Last State)]、[送信者グループ (Sender Groups)]、[送信者IP (Sender IP)]、[IPレピュテーションスコア (IP Reputation Score)]、[ポリシー一致 (Policy Match)] の詳細など、メッセージの追加詳細を表示できます。 | - |
| 判定チャートと最後の状態の判定 | 判定チャートに、アプライアンス内の各エンジンによってトリガーされる可能性のあるさまざまな判定の情報が表示されます。 メッセージの最後の状態によって、エンジンのすべての可能な判定の後に、トリガーされる最終判定が決まります。 | メッセージの判定チャートと最後の状態の判定は、使用できません。 |

| Web インターフェイス ページ または要素 | 新しい Web インターフェイス | レガシー Web インターフェイス |
|--|---|--|
| メッセージの詳細における メッセージ添付ファイルとホ スト名 | アプライアンスでは、メッ セージの添付ファイルとホス ト名は、メッセージの [メッ セージの詳細 (Message Details)] セクションには表示 されません。 | メッセージの添付ファイルと ホスト名は、メッセージの [メッセージの詳細 (Message Details)] セクションに表示さ れます。 |
| メッセージの詳細における送 信者グループ、送信者 IP、IP レピュテーションスコア、お よびポリシー一致 | メッセージの送信者グルー プ、送信者 IP、IP レピュテー ションスコア、およびポリ シー一致の詳細は、アプライ アンスの [メッセージの詳細 (Message Details)] セクショ ンに表示されます。 | メッセージの送信者グルー プ、送信者 IP、IP レピュテー ションスコア、およびポリシー 一致は、メッセージの [メッ セージの詳細 (Message Details)] セクションには表示 されません。 |
| メッセージの方向 (受信また は送信) | メッセージの方向 (受信また は送信) は、アプライアンス のメッセージトラッキング結 果ページに表示されます。 | メッセージの方向 (受信また は送信) は、メッセージト ラッキング結果ページには表 示されません。 |

詳細情報の入手先

シスコでは、アプライアンスに関する理解を深めて頂くために次の資料を提供しています。

- [資料 \(8 ページ\)](#)
- [トレーニング \(9 ページ\)](#)
- [Cisco 通知サービス \(9 ページ\)](#)
- [ナレッジベース \(10 ページ\)](#)
- [シスコサポートコミュニティ \(10 ページ\)](#)
- [シスコカスタマーサポート \(10 ページ\)](#)
- [サードパーティ コントリビュータ \(10 ページ\)](#)
- [マニュアルに関するフィードバック \(11 ページ\)](#)
- [シスコアカウントの登録 \(11 ページ\)](#)

資料

アプライアンスの GUI で右上の [ヘルプとサポート (Help and Support)] をクリックすることにより、ユーザ ガイドのオンライン ヘルプ バージョンに直接アクセスできます。

Cisco E メールセキュリティ アプライアンス のマニュアルセットには次のマニュアルが含まれます。

- リリース ノート
- ご使用の Cisco Email Security Appliances モデルのクイック スタート ガイド
- ご使用のモデルまたはシリーズのハードウェア インストール ガイドまたはハードウェア インストールおよびメンテナンス ガイド
- 『Cisco Content Security Virtual Appliance Installation Guide』
- 『Cisco E メール セキュリティ アプライアンス 向け AsyncOS ユーザーガイド』 (本書)
- 『CLI Reference Guide for AsyncOS for Cisco Email Security Appliances』
- 『AsyncOS API for Cisco Email Security Appliances - Getting Started Guide』

Cisco Content Security 製品のすべてに関する資料が以下で入手できます。

| Cisco コンテンツセキュリティ製品の マニュアル | 参照先 |
|---|---|
| ハードウェアおよび仮想アプライア ンス | この表で該当する製品を参照してください。 |
| Cisco E メール セキュリティ | https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/email-security-appliance/series.html |
| Cisco Web セキュリティ | https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/web-security-appliance/series.html |
| Cisco コンテンツ セキュリティ管理 | https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/content-security-management-appliance/series.html |
| Cisco コンテンツ セキュリティアプ ライアンスの CLI リファレンス ガイ ド | https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/email-security-appliance/products/commandreference.html |
| Cisco IronPort 暗号化 | https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/email-security-appliance/products/commandreference.html |

トレーニング

シスコでは、技術者、パートナー、学生など、それぞれのニーズに合わせた、さまざまなトレーニングプログラムおよびトレーニングコースを用意しています。

- <http://www.cisco.com/c/en/us/training-events/training-certifications/supplemental-training/email-and-web-security.html>
- <http://www.cisco.com/c/en/us/training-events/training-certifications/overview.html>

Cisco 通知サービス

セキュリティアドバイザリ、フィールド ノーティス、販売終了とサポート終了の通知、およびソフトウェアアップデートと既知の問題に関する情報などの Cisco コンテンツセキュリティ アプライアンスに関連する通知が配信されるように署名して参加します。

受信する情報通知の頻度やタイプなどのオプションを指定できます。使用する製品ごとの通知に個別に参加する必要があります。

参加するには、<http://www.cisco.com/cisco/support/notifications.html> に移動します。

Cisco.com アカウントが必要です。ない場合は、[シスコ アカウントの登録](#)（11 ページ）を参照してください。

ナレッジ ベース

手順

-
- ステップ 1** 製品のメイン ページ (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-security-appliance/tsd-products-support-series-home.html>) にアクセスします。
- ステップ 2** 名前に **TechNotes** が付くリンクを探します。
-

シスコサポートコミュニティ

シスコ サポート コミュニティは、シスコのお客様、パートナー、および従業員のオンラインフォーラムです。電子メールおよび Web セキュリティに関する一般的な問題や、特定のシスコ製品に関する技術情報について話し合う場を提供します。このフォーラムにトピックを投稿して質問したり、他のシスコ ユーザと情報を共有したりできます。

Customer Support Portal のシスコ サポート コミュニティには、次の URL からアクセスします。

- 電子メールセキュリティと関連管理:
<https://supportforums.cisco.com/community/5756/email-security>
- Web セキュリティと関連管理 :
<https://supportforums.cisco.com/community/5786/web-security>

シスコカスタマーサポート

シスコ TAC : <http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

従来の IronPort のサポート サイト : <http://www.cisco.com/c/en/us/services/acquisitions/ironport.html>

重大ではない問題の場合は、アプライアンスからカスタマーサポートにアクセスすることもできます。手順については、ユーザー ガイドまたはオンライン ヘルプを参照してください。

サードパーティ コントリビュータ

次のページにある、ご使用のリリースのオープンソースライセンス情報を参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-security-appliance/products-release-notes-list.html>

Cisco AsyncOS 内に付属の一部のソフトウェアは、FreeBSD、Stichting Mathematisch Centrum、Corporation for National Research Initiatives などのサードパーティ コントリビュータのソフト

ウェア使用許諾契約の条項、通知、条件の下に配布されています。これらすべての契約条件は、Cisco ライセンス契約に含まれています。

これらの契約内容の全文は次の URL を参照してください。

https://support.ironport.com/3rdparty/AsyncOS_User_Guide-1-1.html

Cisco AsyncOS 内の一部のソフトウェアは、Tobi Oetiker の書面による同意を得て、RRDtool を基にしています。

このマニュアルには、Dell Computer Corporation の許可を得て複製された内容が一部含まれています。このマニュアルには、McAfee の許可を得て複製された内容が一部含まれています。このマニュアルには、Sophos の許可を得て複製された内容が一部含まれています。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカル マニュアル チームは、製品ドキュメントの向上に努めています。コメントおよびご提案をお待ちしています。ぜひ以下の電子メールまでお知らせください。

contentsecuritydocs@cisco.com

メッセージの件名には、製品名、リリース番号、このマニュアルの発行日をご記入ください。

シスコ アカウントの登録

Cisco.com の多数のリソースへアクセスするには、シスコのアカウントが必要です。

Cisco.com のユーザ ID をお持ちでない場合は次のリンク先で登録できます。

<https://idreg.cloudapps.cisco.com/idreg/register.do>

関連項目

- [Cisco 通知サービス \(9 ページ\)](#)
- [ナレッジ ベース \(10 ページ\)](#)

Cisco E メールセキュリティ アプライアンス の概要

AsyncOS™ オペレーティング システムには、次の機能が組み込まれています。

- SenderBase レピュテーション フィルタと Cisco Anti-Spam を統合した独自のマルチレイヤ アプローチによるゲートウェイでの**スパム対策**。
- Sophos および McAfee ウイルス対策スキャンエンジンによるゲートウェイでの**ウイルス対策**。
- 新しいアップデートが適用されるまで危険なメッセージを隔離し、新しいメッセージ脅威に対する脆弱性を削減する、新しいウイルス、詐欺、およびフィッシングの拡散に対するシスコの独自保護機能である**アウトブレイク フィルタ™**。
- **ポリシー、ウイルス、およびアウトブレイク検査**は、疑わしいメッセージを保存して管理者が評価するための安全な場所を提供します。

- 隔離されたスパムおよび陽性と疑わしいスパムへのエンドユーザアクセスを提供する、オンボックスまたはオフボックスの**スパム隔離**。
- **電子メール認証**。Cisco AsyncOS は、発信メールに対する DomainKeys および DomainKeys Identified Mail (DKIM) の署名の他に、着信メールに対する Sender Policy Framework (SPF)、Sender ID Framework (SIDF)、DKIM の検証など、さまざまな形式の電子メール認証をサポートします。
- **Cisco 電子メール暗号化**。HIPAA、GLBA、および同様の規制要求に対応するために発信メールを暗号化できます。これを行うには、アプライアンスで暗号化ポリシーを設定し、ローカルキーサーバまたはホステッドキーサービスを使用してメッセージを暗号化します。
- アプライアンス上のすべての電子メールセキュリティサービスおよびアプリケーションを管理する、単一で包括的なダッシュボードである**電子メール セキュリティ マネージャ**。電子メールセキュリティマネージャは、ユーザグループに基づいて電子メールセキュリティを実施でき、インバウンドとアウトバウンドの独立したポリシーを使用して、Cisco レピュテーションフィルタ、アウトブレイクフィルタ、アンチスパム、アンチウイルス、および電子メール コンテンツ ポリシーを管理できます。
- **オンボックスのメッセージトラッキング**。AsyncOS for Email には、アプライアンスが処理するメッセージのステータスの検索が容易にできる、オンボックスのメッセージトラッキング機能があります。
- 企業のすべての電子メールトラフィックを全体的に確認できる、すべてのインバウンドおよびアウトバウンドの電子メールに対する**メール フロー モニタ機能**。
- 送信者の IP アドレス、IP アドレス範囲、またはドメインに基づいた、インバウンドの送信者の**アクセス制御**。
- 広範な**メッセージおよびコンテンツ フィルタリング** テクノロジーを使用して、社内ポリシーを順守させ、企業のインフラストラクチャを出入りする特定のメッセージに作用させることができます。フィルタルールでは、メッセージまたは添付ファイルの内容、ネットワークに関する情報、メッセージエンベロープ、メッセージヘッダー、またはメッセージ本文に基づいてメッセージを識別します。フィルタアクションでは、メッセージをドロップ、バウンス、アーカイブ、ブラインドカーボンコピー、または変更したり、通知を生成したりできます。
- **セキュアな SMTP over Transport Layer Security 経由のメッセージの暗号化**により、企業のインフラストラクチャとその他の信頼できるホストとの間でやりとりされるメッセージが暗号化されるようになります。
- **Virtual Gateway™** テクノロジーにより、アプライアンスは、単一サーバ内で複数の電子メールゲートウェイとして機能できるため、さまざまな送信元またはキャンペーンの電子メールを、それぞれ独立した IP アドレスを通して送信するように分配できます。これにより、1つの IP アドレスに影響する配信可能量の問題が、他の IP アドレスに及ばないようにします。
- 複数のサービスによって提供される、電子メールメッセージ内の**悪意のある添付ファイルやリンクからの保護**。
- **データ損失防止**により、組織から出る情報の制御と監視を行います。

AsyncOS は、メッセージを受け入れて配信するために、RFC 2821 準拠の Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) をサポートします。

レポート作成コマンド、モニタリング コマンド、およびコンフィギュレーション コマンドのほとんどは、HTTP 経由でも HTTPS 経由でも Web ベースの GUI から使用できます。さらに、セキュアシェル (SSH) または直接シリアル接続でアクセスするインタラクティブなコマンドラインインターフェイス (CLI) がシステムに用意されています。

また、複数のアプライアンスのレポート、トラッキング、および隔離管理を統合するようにセキュリティ管理アプライアンスを設定できます。

関連項目

- [サポートされる言語 \(13 ページ\)](#)

サポートされる言語

AsyncOS は次の言語のいずれかで GUI および CLI を表示できます。

- 英語
- フランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- イタリア語
- 韓国語
- 日本語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- 中国語 (繁体字および簡体字)
- ロシア語

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。